

経営比較分析表（令和3年度決算）

岐阜県大垣市 東外側駐車場

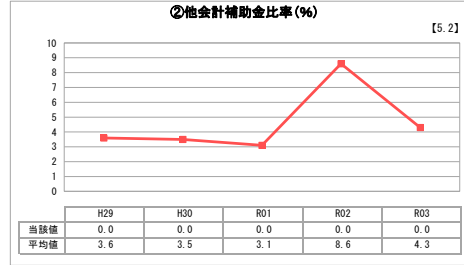
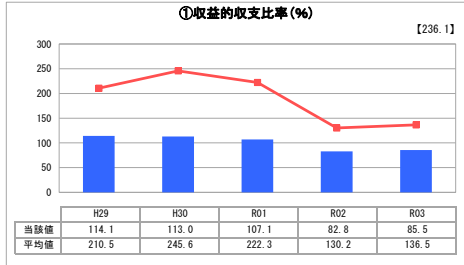
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	28	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	5,471
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
200	200	無

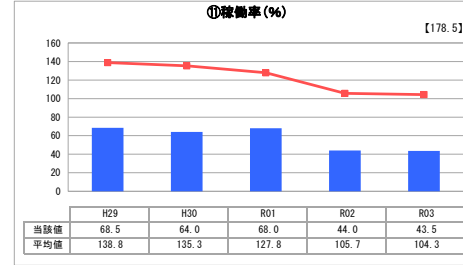
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

平成26年度に地方債の償還が終了しており、以降黒字で推移してきたが、新型コロナウイルスの影響による利用者減のため令和2年度から①収益的収支比率は100%を下回り、④売上高GOP比率及び⑤EBITDAはともにマイナスとなっている。

2. 資産等の状況について

駐車場整備計画において、今後も維持していく駐車場として位置付けており、引き続き、適切な維持管理をしながら設備更新を計画的に実施していく。

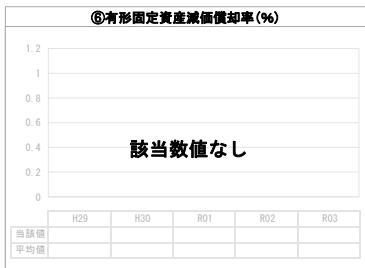
3. 利用の状況について

収容台数200台という比較的大規模な駐車場であるため、稼働率は平均を下回って推移している。令和3年度は、引き続き新型コロナウイルスの影響により令和2年度と同水準のままとなっている。

全体総括

東外側駐車場は、地方債の償還も終了しており、新型コロナウイルスの影響により収支状況は赤字となっているものの、駅から徒歩圏内という立地条件もあり今後も需要は見込まれるため、引き続き適切な管理運営に努めていく。

2. 資産等の状況

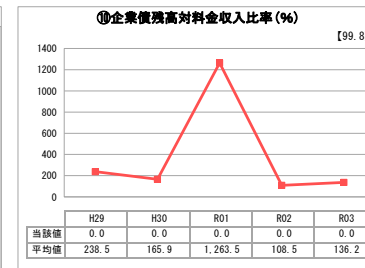
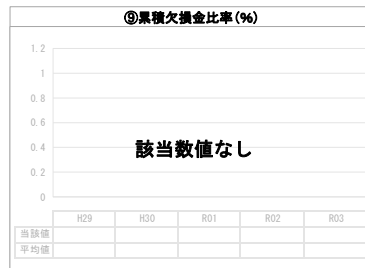


⑦敷地の地価(千円)

77,931

⑧設備投資見込額(千円)

0



経営比較分析表（令和3年度決算）

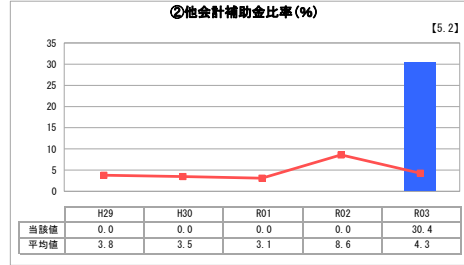
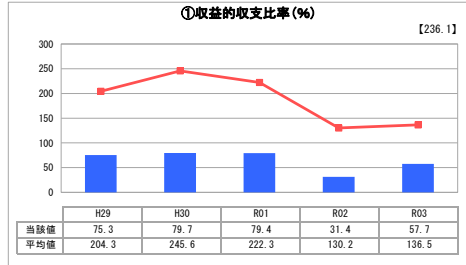
岐阜県大垣市 清水駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	45	

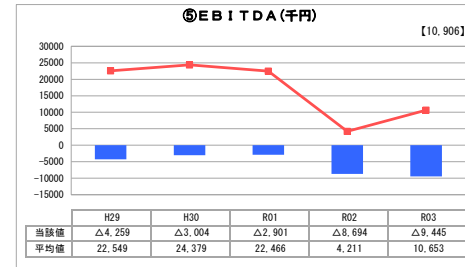
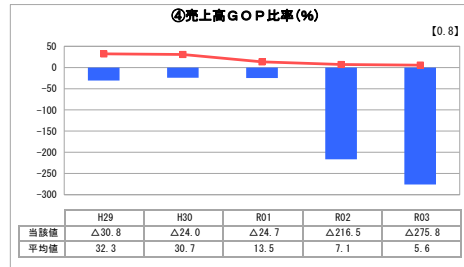
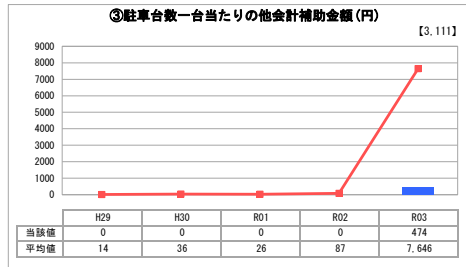
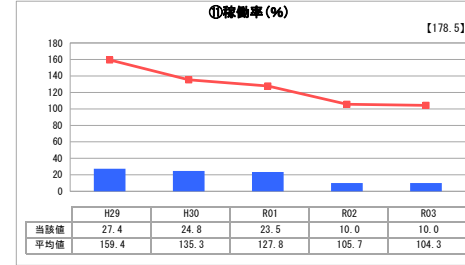
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	5,259
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
230	200	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

駅からやや遠いという立地条件もあり、年々利用者が減少し、①収益的収支比率は、100%を下回り、④売上高GOP比率及び⑥EBITDAともにマイナス状態が続いている。
令和3年度については、新型コロナウイルスの影響に伴う利用者の大幅な減少が続いている中、一般会計からの繰入で賄うこととなった。

2. 資産等の状況について

当駐車場は昭和52年建設で老朽化が著しく、大規模な改修が必要な状況である。
駐車場整備計画では、利用しやすい平面駐車場への転換を図り健全な運営を目指すものとしており、令和4年度以降、建物を解体し平面整備を予定している。

3. 利用の状況について

駅から少し遠いという立地条件や当駐車場周辺にコインパーキングが増えていること、さらに新型コロナウイルスの影響に伴うまつり等イベントの中止など、利用者は少なく稼働率は非常に低い。

2. 資産等の状況

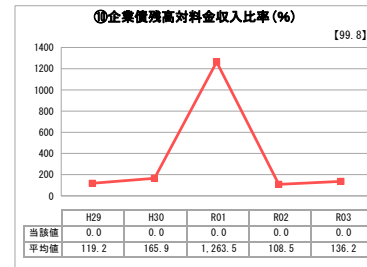


⑧敷地の地価(千円)

155,840

⑨設備投資見込額(千円)

189,400



全体総括

建設後40年を越え、施設の大規模な改修が必要な状況であるが、今後も大幅な利用者の増加は見込めないことから、駐車場整備計画に基づき立体駐車場を解体し、維持費の安価な平面駐車場への転換を図り健全な運営を進めていく。

経営比較分析表（令和3年度決算）

岐阜県大垣市 丸の内駐車場

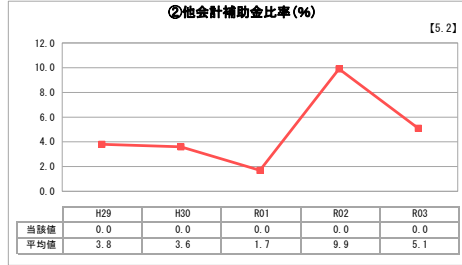
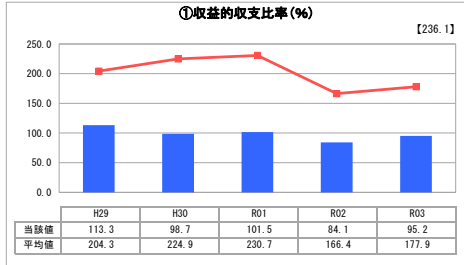
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	47	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	有	6,233
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
251	200	無

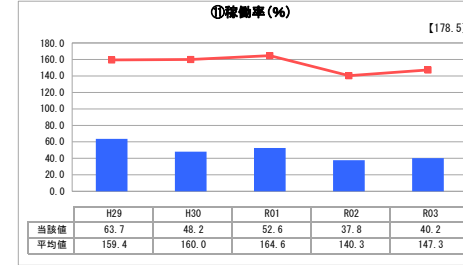
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

丸の内駐車場は、市役所に隣接する駐車場であり、駐車場事業の事務所を設置し、他の駐車場に振り分けることの出来ない負担金や基金への積立金などの費用を計上している。
収支状況としては令和元年度までは収入と支出がほぼ同額の状況で推移してきたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響に伴う収入減により、①収益的収支比率は100%を下回り、④売上高GOP比率及び⑤EBITDAともにマイナスではあるものの、令和2年度より回復傾向がみられる。

2. 資産等の状況について

丸の内駐車場は昭和50年に建設しており、老朽化が進んでいる。
駐車場整備計画において、今後も維持し改修等を行う場合は、周辺土地利用状況の変化や駐車需給バランスを考慮し、その状況に応じて規模等を検討する施設として位置づけられており、周辺の公共施設の整備に合わせ施設のあり方を検討していく。

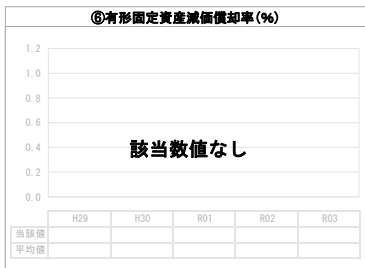
3. 利用の状況について

収容台数が251台の大規模駐車場であるため、稼働率は平均を下回っている。
定期利用が中心で、中心市街地のイベント開催時に一般利用が増加する状況であるが、令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うイベント中止の影響により、稼働率が減少している。

全体総括

隣接する市役所新庁舎が完成したことにより、今後、他の周辺公共施設の整備に合わせ丸の内駐車場のあり方を検討していく。

2. 資産等の状況

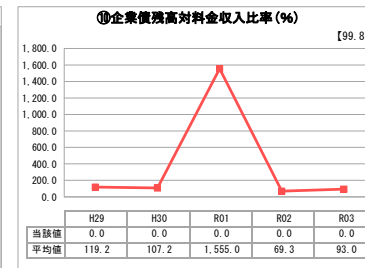
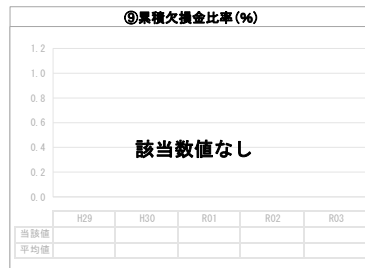


⑦敷地の地価(千円)

147,067

⑧設備投資見込額(千円)

0



経営比較分析表（令和3年度決算）

岐阜県大垣市 駅南駐車場

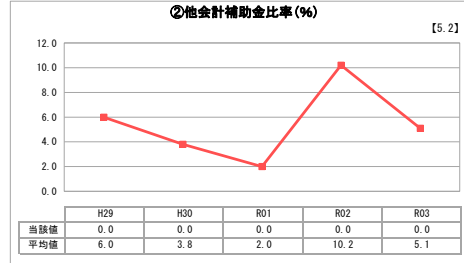
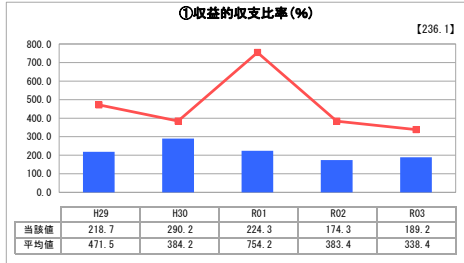
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	34	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	443
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
17	300	無

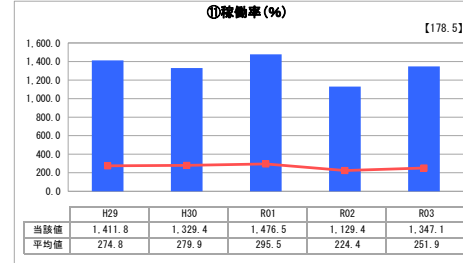
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

大垣駅に隣接する広場式の駐車場であるため維持管理費は少なく収益性は高いが、①収益的収支比率は、全国平均や類似施設平均値と比較して低い水準となっている。
駅の送迎用の駐車場ため20分以内を無料としていることが要因であり、短時間の利用が多く稼働率は高めとなっている。

2. 資産等の状況について

広場式で自動料金精算機もリース契約であるため、駅南駐車場の資産は土地のみである。
駐車場整備計画において今後も維持していく駐車場として位置づけられており、適切に管理運営をしていく。

3. 利用の状況について

大垣駅に隣接していることと、20分以内無料であることから利用者は多く稼働率は平均を大きく上回っている。

全体総括

大垣駅に隣接しており、収容台数は少ないが需要の高い駐車場である。
また、広場式であるため維持管理コストも低く収益性の高い駐車場である。
引き続きサービスの向上に努めていくことで収入増を進めていきたい。

2. 資産等の状況

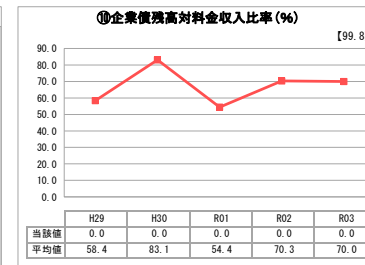


⑦敷地の地価(千円)

42,794

⑧設備投資見込額(千円)

0



経営比較分析表（令和3年度決算）

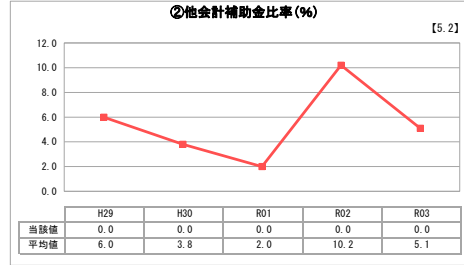
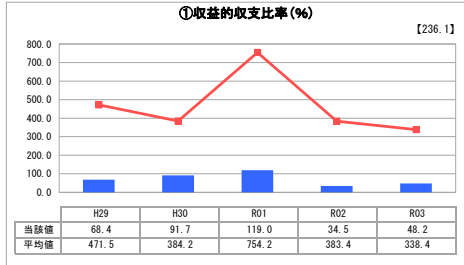
岐阜県大垣市 駅北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	9	

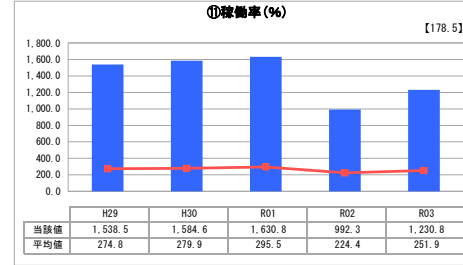
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	387
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
13	300	無

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

駅北駐車場は平成24年に大垣駅北口広場整備の完了に合わせて供用開始した駐車場であるが、駅に送迎するための20分以内の無料駐車車が大半を占めており、稼働率が高い割りに収益はなく、新型コロナウイルスの影響もあり①収益的収支比率は100%を下回り、④売上高GOP比率及び⑤EBITDAともマイナスとなっている。

2. 資産等の状況について

広場式で自動精算機もリース契約であるため、駅北駐車場の資産は土地のみである。駐車場整備計画において今後も維持していく駐車場として位置づけられており、適切に維持管理していく。

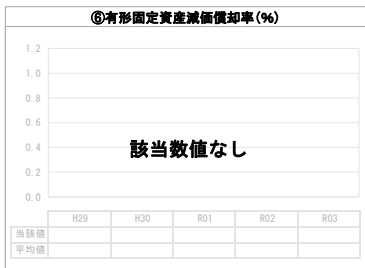
3. 利用の状況について

大垣駅に隣接している駐車場であるため利用者は多く稼働率が高いが、20分以内の無料駐車車が大半を占めている。令和3年度は、令和2年度に比べると回復傾向にある。

全体総括

駅北駐車場は、駅利用者の送迎用として整備された駐車場であり、稼働率が高く需要の高い駐車場であるため、引き続きサービスの向上に努めていく。

2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)

30,883

⑧設備投資見込額(千円)

0

